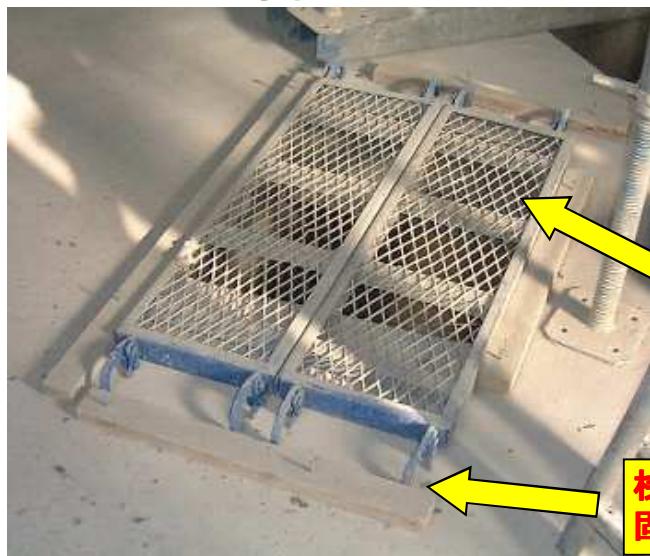


開口部養生の〇と×

好事例



開口養生の例:メッシュ布板を用いた方法

強度的にも十分で正しい配慮です

下が開口だとわかるのが良いですね
開口部の表示もあれば申し分ないです

枕木をコンクリート釘で固定しています

指摘事例



注:養生材には蓋であることの表示を行う事

「開口部蓋表示」

(互助会看板に在庫してます)



開口部の表示はあるのですが...
肝心の幅が足りない

上図のメッシュ布板を用いた方法は、作業者に対して開口部の場所を明確にすることが出来る意味でも良い方法と思います、床に釘を打てる条件であれば採用して下さい。(布板がリース品なので採用できる条件が限られますが)

コンパネの場合、強度は持つのでしょうか？

また、一般的な下図のようなコンパネによる養生蓋は、強度が心配です。

さて、コンパネ一枚敷きでどのくらい持つのでしょうか？

↓ 計算結果です

開口部の長さが90センチでコンパネ一枚の場合「許容曲げ荷重」は120kgでした
人間一人で限界ですね。(動けば衝撃荷重が加わるため)

原則として、コンパネ製開口蓋の上では作業禁止、やむをえず乗る場合は2枚敷きにて補強、但し開口部の長辺が60センチを超えるようであればコンパネでの養生は避け、鋼製材で養生を行う事、もちろんいずれの場合もズレ止めは確実に！